

## 国際化学肥料ニュース (2013年5月)

### 肥料業界の2013年5月動態

- \* TFI (アメリカ肥料研究所) が発表したデータによれば、4月末現在北米地域の主要化学肥料在庫量が下記の通りである。

塩化加里が3月末より6%減、昨年4月より2%増、最近5年間平均値より25%高い。

DAPが3月末より4%増、昨年4月より60%増、最近5年間平均値より12%低い。

MAPが3月末より3%増、昨年4月より38%増、最近5年間平均値より2%高い。

2013年冬季と春先の天候不順で、農家等が肥料の購入を控えていたと説明した。

- \* カナダ Potash Corp が2013年世界加里肥料の需要予測を発表した。2013年世界の加里肥料需要量5500~5700万トン、最大の輸入地域がアジアで、インド輸入量400万トン、中国300万トン以上、インド・中国を除くほかのアジア諸国が850万トン。南米の総輸入量が1000万トン超、主な輸入国はブラジルとアルゼンチンである。2012年世界の加里肥料販売量が5190万トン、2011年の5720万トンより9.3%減であった。

- \* インド政府が2013/2014年度の化学肥料補助金を確定した後、インドの肥料輸入商社が輸出元に対して厳しい価格要求を突き付ける。

2013/2014年度は、りん酸系肥料と加里肥料の補助金総額が約15%削減され、DAP補助金が昨年の265.5ドル/トンから約14%カットの229.5ドル/トンに、塩化加里補助金が昨年の266.4ドル/トンから約22%カットの210ドル/トンにする。現在、インドの化学肥料輸入商社がCFR価格としてDAP 510~515ドル/トン、塩化加里430ドル/トン、尿素350ドル/トンを要求している。

インド政府の試算では、補助金の削減と化学肥料の輸入価格が低下により、DAPと塩化加里の末端販売価格がそれぞれ1500ルピー(約27.5ドル)/トンと1000ルピー(18.5ドル)/トン安くなる。

- \* 5月13日、中国りん酸肥料工業協会第20回年次大会が開催された。中国りん酸肥料工業協会がその会議に発表したデータによれば、2012年末現在、中国のDAP生産能力1850万トン、実生産量1459万トン、稼働率78.9%。MAP生産能力1650万トン、実生産量1328万トン、稼働率80.5%。しかし、需要量に比べ、生産量の過剰率が40%を超え、危険水域に入った。2013年3月末現在、DAP在庫量が前年同期より38%増、

工場出荷価格 7%下落、MAP 在庫量が前年同期より 61%増、工場出荷価格 7.7%下落、大半のメーカーが赤字に陥った。

その窮境を打開するため、一部の中小メーカーを潰し、設備を削減して、2015 年末に DAP 生産能力を 1500 万トン/年、MAP 生産能力を 1200 万トン/年にするリストラ案を検討中とのことである。

- \* ブラジルの塩化加里需要が旺盛である。ブラジル SIACESP の統計データによれば、ブラジル 3 月の塩化加里輸入量が前年同期より 31%増の 41 万 8 千トンに達した。また、4 月の塩化加里輸入量がさらに 86 万トンに達し、昨年同期の 34.9 万トンより 146%増加した。輸入元の内訳は、カナダ 35 万トン、ドイツ 16.2 万トン、ロシア 14 万トン、チリ 10 万トン、イスラエルとスペインそれぞれ 5.3 万トン。1~4 月の輸入量が昨年同期より 53%増の 220 万トンであった。
- \* ベラルーシ税関のデータによれば、2 月に 63.5 万トンの塩化加里を輸出し、その 1/3 は中国向けであった。1~2 月に塩化加里生産量 100 万トン、昨年同期より 55.5%増であった。
- \* インドは政府による化学肥料補助金の確定を受け、5 月の塩化加里輸入量が 67 万トンと予定している。その内訳は BPC から 29 万トン、ICL から 20 万トン、Conpotex13.3 万トン、APC と K+S は 1 船ずつ。

#### 大手各社の営業業績

- \* 5 月 13 日、イスラエル ICL 社は 2013 年第 1 四半期の業績を公表した。売上高 16.4 億ドル（昨年同期より 9%増）、純利益 3.05 億ドル（昨年同期より 5.5%増）。主力製品の塩化加里販売量が昨年同期より 42%増の 130.9 万トンで、売上高と利益に大きく貢献した。ICL 社は世界第 6 位の加里肥料メーカーである。  
また、先月、カナダの Potash Corp 社は、イスラエル政府の反対により、該社は ICL 社を買収する計画を断念したと発表した。Potash Corp 社は ICL 社の株式 14%を保有している。
- \* ロシア Uralkali 社は 2012 年の業績を公表した。塩化加里生産量が 16%減の 910 万トン、販売量が 12%減の 940 万トン、輸出量が 17%減の 730 万トン、平均輸出価格が

370 ドル／トンであった。営業利益が 6%減の 33.4 億ドル、純利益が 5%増の 15.97 億ドル。

生産量と販売量が大幅減少した理由は、世界の加里肥料需要不振であると説明した。世界加里肥料需要量が 2011 年の 5700 万トンから 2012 年の 5100 万トンに急減し、Uralkali 社もその影響をもろに受けた。ただし、Uralkali 社は生産能力の増強を緩めなかった。2013 年 1 月現在、塩化加里生産能力が 1200 万トン／年に達した。2013 年 1～3 月に塩化加里生産量が 208 万トン、去年同期より 8%増であった。

- \* ヨルダン APC 社が 2013 年第 1 四半期の業績を公表した。加里肥料生産量が 46.6 万トン（去年同期より 18%減）、販売量が 50.3 万トン（去年同期より 16%増）であった。但し、職員の給料増、エネルギー価格の上昇、用水代の上昇等により、生産コストは去年同期より 33%も上がった。従って、純利益が 33.3%減の 0.402 億ドルであった。
- \* カナダ Potash Corp 社の 2013 年第 1 四半期塩化加里販売量が 220 万トン（去年同期より 83%増）、平均販売価格が 363 ドル／トン（去年同期が 435 ドル／トン）。2013 年第 1 四半期の加里肥料粗利益 5.04 億ドル、去年同期の 3.27 億ドルより 54%増であった。
- \* ドイツ K+S 社は 2013 年第 1 四半期の業績を公表した。収入総額 12.8 億ユーロ（去年同期より 19%増）。その中、主力製品の加里とマグネシウム製品の販売量 203 万トン（去年同期より 14%増）、売上高 6.255 億ユーロ（去年同期より 7.5%増）、総収入額の 49%を占める。なお、K+S 社は 2013 年の加里肥料販売量が 700 万トンと計画している。

#### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* アメリカ駐ナイジェリアラゴスの総領事 Jeffrey Hawkins 氏は、アメリカ政府が海外投資ファンド Overseas Private Investment Corporation を通して、ナイジェリア Edo 州に 2.5 億ドルを投資し、化学肥料工場を建設する。この肥料工場が 1500 人の雇用を作り出す。
- \* アメリカとカナダの合弁で、ノースダコタ州に窒素肥料工場を建設する。地元産出のシェールガスを原料として、尿素及び尿素・硝酸液体肥料 2100 トン／日を生産する能力を持ち、投資額 15 億ドル。2017 年までに完成し、2017 年の農作物栽培シーズンに肥料を供給する予定。

- \* 韓国三星エンジニアリングはアゼルバイジャン国営石油（Socar）との間に尿素工場の建設に関する設計、資材購買、施工を請け負う契約を締結した。Socar はアゼルバイジャン国内にアンモニア 1200 トン、尿素 2000 トン／日の尿素工場を建設し、2015 年末に完成予定。また、Socar は隣国のグルジアにも同規模の尿素工場の建設を計画している。
- \* インドはイランのチャバハル港に尿素工場を建設する計画を立てた。インド政府が当該尿素工場建設に財政と技術を援助する。インドがイランの豊富な天然ガス資源に着目し、尿素の生産に協力してきた。昨年、インドがイランから 160 万トン尿素を輸入した。
- \* サウジアラビア鉱業社（Maaden）は、アメリカ Mosaic 社とサウジアラビア Sabic 社との間に Shama Er northern industrial city の建設プロジェクトに関する契約を締結した。Shama Er northern industrial city はサウジアラビアの北部にあり、豊富なりん鉱石埋蔵量がある。当該プロジェクトは年間 1600 万トンのりん鉱石を採掘し、りん安 300 万トン及びその他のりん酸塩化学品を生産する計画。総投資額 70 億ドル、それぞれの出資金が 60%、25%と 15%、2016 年完成予定。完成後、世界最大規模のりん酸塩化学品生産拠点となる。

#### その他

- \* イスラエル政府及びイスラエル ICL の反対により、カナダ Potash Corp は ICL を 160 億ドルで買収する計画を断念した。現在、Potash Corp は ICL の 14%株式を所持しているが、それを 50%以上に取得して、子会社にする計画であった。イスラエル反対の理由の一つは、死海に位置する ICL の塩化加里工場が買収により効率化のために対岸にあるヨルダン APC の工場に移転合併させるのではないかと懸念する。Potash Corp はすでにヨルダン APC の 28%株式を所持している。買収破談により、ICL の株価が 4.5%下落した。
- \* 4月26日、難航していたブラジルヴァーレ社がアルゼンチン Rio Colorado 加里鉱山開発プロジェクトからの撤退について、アルゼンチン政府との間に最終協定を締結した。アルゼンチン政府がヴァーレ社の撤退を認め、ヴァーレ社は雇用している 4000 名従業員に解雇手当として 2.5 ヶ月給料を支払う。

2009 年、ヴァーレ社は英豪の Rio Tinto 社から 8.5 億ドルで Rio Colorado 加里鉱山の開発権利を購入した。その後、59 億ドルを投資して、当該加里鉱山の開発と塩化加里精製工場を建設すると計画していた。しかし、アルゼンチンの年率 25%に達するインフレと為替レートの変動、当該プロジェクトの必要な費用が 110 億ドルに跳ね上がる。

また、アルゼンチン政府は 30 億ドルの減税要求も認めないため、ヴァーレ社はすでに 22.3 億ドルを投資したにも拘らず、2012 年 12 月から当該プロジェクトを停止した。

協定では、ヴァーレ社が当該プロジェクトを自由に売却することができる。報道によれば、現在、中国とインドの企業が興味を示しているようである。

- \* ベラルーシ大統領のスポークスマンは、ベラルーシ大統領がロシアとベラルーシの加里肥料合弁販売会社 BCP の販売体制に不満を表明したと発表した。BCP が塩化加里の販売により、価格及び税収の面でベラルーシの国益に損害を与えると指摘し、ベラルーシ産塩化加里輸出に関して、独立委員会を設立して、最適な案を制定する。これに伴い、先月 20～24 日にアメリカシカゴで開催された国際肥料工業会 (IFA) の会議に於いて、BPC 解体可能性が話題となった。その後、ベラルーシ大統領がそれを否認し、BPC を維持しつつ、ベラルーシに最適な案を検討すると説明した。
  
- \* 5 月 14 日、ブラジルの B&A Fertilizers Limited は英豪の Rio Tinto 社から Rio Verde Minerals Development を買収した。Rio Verde Minerals Development はブラジルにりん鉱山と加里鉱山の探鉱と開発を専門とする会社で、買収により、B&A がブラジル国内りん酸と加里資源の開発に有利な地位を占める。